

## イ 自己肯定感と悩みの相談先について

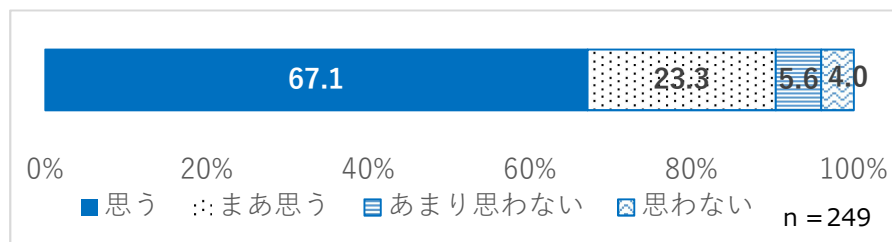
平成 26 年(2014 年)度に実施した「鎌倉市健康づくりについての意識調査」では、「自分の命を大切だと思いますか」との質問に対し、「あまり思わない」と答えた小学 6 年生は 2.4%、中学 3 年生は 3.0%、「思わない」はいずれも 0%でした。一方、令和 4 年度に実施した「いのちの教室事後アンケート」※では、「あまり思わない」「思わない」と答えた中学生は 9.6%でした。

また、「困っていることや悩みを相談する人(相談できそうな人)は誰ですか」との質問では、「鎌倉市健康づくりについての意識調査」「いのちの教室事後アンケート」のどちらも「父母」「友達」が上位を占めています。

※鎌倉市健康づくり計画の中間評価のために令和 2 年(2020 年)度に市民アンケートを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響下での調査となるため、実施を見送りました。参考資料として令和 4 年度に実施した「いのちの教室事後アンケート」を掲載しています。

参考：自分の命を大切だと思いますか。(ひとつだけに○)

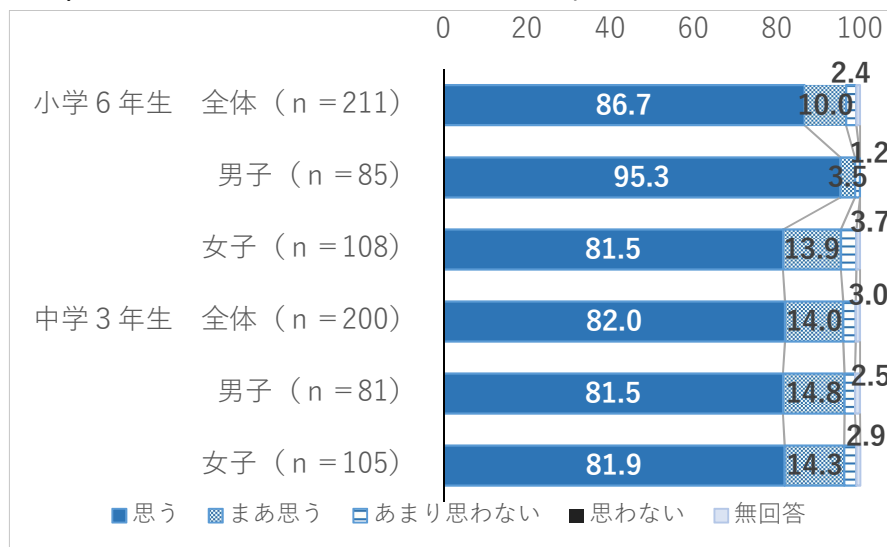
(令和 4 年度いのちの教室アンケート・中学生向け)



資料：鎌倉市市民健康課

参考：自分の命を大切だと思いますか。(ひとつだけに○)

(平成 26 年度鎌倉市健康づくりについての意識調査)



出典：鎌倉市健康づくりについての意識調査(平成 26 年)